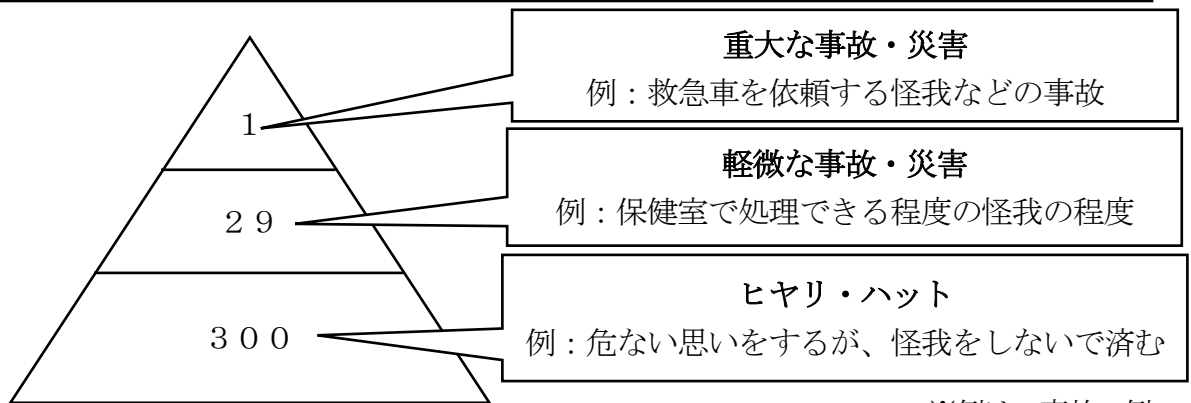


<805> 「ハインリッヒの法則」からつかむ安全指導のコツとは？

安全指導の土台として、安全に関して有名な「ハインリッヒの法則」があるので、資料に紹介してみます。技術分野を担当する教師として「ハインリッヒの法則」を心得るのが、安全指導のコツになると思います。「ハインリッヒの法則」を背景に、安全指導を見直してはいかがでしょうか？ 生徒には説明する必要はないと思いますが、折に触れて軽く扱ってみる方法を考えても良いと思います。

資料：「ハインリッヒの法則」

1941年アメリカ損害会社の安全技師、H. Wハインリッヒが事故や災害について調査した結果をもとに、確立した法則です。これは、一つの大事故・重大事故の陰には「29」の小事故・軽微な災害があり、さらにその陰に「300」のヒヤリ・ハットする異常・かすり傷程度の軽微な事故や災害が潜んでいるというものです。



※例は、事故の例